

第54回「ふれあいトーク」当日のやりとりコメント

【1】 東海村総合体育館のトレーニング室等について

【東海村総合体育館のトレーニング室について】

- ・トレーニング室にあるマシンは、修理しても直ぐに壊れてしまう。今年だけで3回も修理している。その期間（2ヶ月）は、使用することができずに困っている。
- ・別のマシンの修理状況を尋ねると、「そのことは聞いていない」との返事であった。以前、きちんと伝えたが、情報が伝わっていないのではないか。
- ・利用者は安全なものを望んでいる。何度も修理する必要がある、限られた期間しか出来ないものでは困る。新しいマシンの導入を検討してほしい。管理や修理に関する契約方法についても見直しが必要ではないか。

⇒【村長コメント】

- ・契約方法の検討も含めて、担当課に伝える。

⇒【国体・スポーツ推進課コメント】

- ・トレーニングマシンについては、年に6回の保守点検を行い、維持・運営しておりますが、故障が多発しているとのことで御不便をおかけし申しわけございません。保守点検業者が限定されてしまうことについては、トレーニングマシンのメーカーにより保守点検を行うことができる業者が限定されてしまうためですが、今後は、利用する方々の利便性向上の観点から、マシンの入れ替えを含め、総合体育館の指定管理者とともに検討してまいります。

【照沼小学校特認校制度に関するアンケート調査について】

- ・以前、アンケート調査について「すぐにできる」との回答であった。しかし、未だに行われていないと思う。特認校に来てほしいとの呼びかけに対して、反していると思う。

⇒【村長コメント】

- ・申し訳なく思う。担当課に伝える。

⇒【学校教育課コメント】

- ・アンケート調査については、7月に学区外からの児童の保護者に対し、実施いたしました。結果につきましては、以下を参考にしてください。

(参考) 東海村公式ホームページより抜粋（照沼小学校への学区外からの転入学について）

- 平成30年7月に、特認校制度を使用している保護者にアンケートを実施しました。
- 抜粋して内容をご紹介します。・少人数のクラスなので、細かなところまでみてもらえる。
- 一クラスの人数や全校生徒の人数が少ないため、一人一人がきめ細かく支援してもらえ、子どもにあったペースでのびのびと学校生活を送れる。
- 他教科の授業にもNLT（外国語指導講師）が入って英語を聞ける。
- 英語、田植えといった特色あるカリキュラムが魅力的。
- 全学年の子どもたちが気にかけて関わってくれるため、ひとりで孤立してしまうことがない違う学年の友達、お兄さんお姉さんとのかかわりが刺激になり、楽しそうに学校生活を送っている。
- 自然に触れるプログラムが豊富で、環境も広々しており、心が豊かになりそう。
- 友達がみんな優しく、困ったときは声をかけてくれるので、楽しく安心して過ごせている。

- 新しい友達もでき、自然がとても豊かな場所で日々学習しているので、のびのびと過ごし、楽しい学校生活を送れている。
- 送迎の間、こどもとの会話が増えた。
- PTA 行事については、多すぎるという印象はない。

【学童への応募書類について】

- ・書類が簡素化すぎて雑に感じる。同居家族についても記入欄が無い。これでは「書かなければわからない」という人も、中にはいるのではないか。他の人たちも、どこで差をつけるのか疑問に感じるとの話もよく聞く。書類は、学童の指定管理者に提出することになっているが、情報の整合性をとるのは個人情報に関する項目のみと聞いている。村と指定管理者が連携して、記載された情報のすり合わせを行ってほしい。

⇒ 【村長コメント】

- ・今度、新規で民間事業者が学童を始める予定もある。そのような状況から、最終的には村の学童に入れずに、あふれる人はいないとの認識がある。

⇒ 【子育て支援課コメント】

- ・現在、村立学童は各指定管理者にて運営をお願いしております。入所申込書の書類は、優先度を考慮するための判断材料となりますので、必要な情報を収集するために、随時、書類を見直すよう指導してまいります。

【被災地への物資支援について】

- ・被災地に物資を送りたくても個人では断られてしまう。村が物資を取りまとめて送ってくれるように取りまとめをしてほしい。

⇒ 【村長コメント】

- ・他の方からも言われている。自治体や社会福祉協議会など、取りまとめる必要があると思う。社会福祉協議会では、フードドライブなどを日常的に行っていて、似たような経験がある。そのようなところとも話をしてみたいと思う。

⇒ 【福祉総務課コメント】

- ・災害の種類、発生時期や場所、被害の程度等によって、被災地が必要とする支援物資は異なってまいります。東海村社会福祉協議会（以下「村社協」）では、被災地の社会福祉協議会を通じ、「どのような支援物資が必要か」について情報収集を行った上で、「村社協としてどのような支援ができるか」を検討協議し、物資支援の判断をしております。ある被災地が必要としている「モノ」が、住民の皆さんからご提供いただける「モノ」である場合は、村社協が支援物資を募り、まとめて被災地に送る、あるいは直接届けるケースもございますので、その際はご協力いただければありがたく存じます。

（参 考）被災地ではこのようなことも考えられます

少しでも被災者のために…。救援物資を被災地へ届けてあげたいと思われる方々もおられると思います。しかし、不特定多数の方々から不特定多数の被災者へ救援物資が送られた場合、その救援物資にどれだけの「真心」がつかまっていても、その仕分け作業等において、行政の機能、避難所の運営が麻痺してしまいます。被災地ごとに状況が異なるため、その被災地で必要な「モノ」も異なります。その被災地から発表される必要な「モノ」を、行政や社協等を通じて送るようにして、個別に救援物資を発送するのは控えましょう。

（雲仙社会福祉協議会災害ボランティアセンター引用）

【(仮称) 歴史と未来の交流館について】

- ・赤字になると分かっているのに建設するのはなぜか。決まったことでも、止めることも必要なのではないかと思う。止める決断ができるのも村長しかいない。
- ・何度も行きたいと思う施設であるか疑問に感じる。皆から望まれていない施設を建設しても意味が無いのではないか。村民の意見を聞くべきと思う。

⇒ 【村長コメント】

- ・私は、(仮称) 歴史と未来の交流館を建設したいと思っている。中身については、もう少し工夫をしたいと思っている。反対意見もあるが、一方で、早く建設してほしいと両方の意見がある。止めるという選択肢は私にはない。費用については、今あるサービスを削らずにどうやっていくか。トータルで考えると減るものもある。今後、清掃センターでは不燃ごみを扱わなくなる。その分の費用が減となる例もある。交流館を単体でみると増になるが、全体で見るなど、他の事も含めて説明していきたい。

【原子力発電所の再稼働について】

- ・再稼働はしなくても生活は出来ると思う。

⇒ 【村長コメント】

ご意見として伺う。

【2】 (仮称) 歴史と未来の交流館について

- ・今ある施設(村立照沼小学校や産業情報プラザ、コミセン、中央公民館など)を活かす方が合理的ではないか。建設には、賛否両論あるので再検討してほしい。
- ・産業情報プラザは何に使っているのか。その施設で代用できないか。
- ・建設予定地は、駅前ではないので、わざわざ行かなければならないとの感覚がある。高齢者が道路を渡るのも危険ではないか。
- ・文化財を展示することが本当に必要なのか疑問に感じる。
- ・交流館という形ではなく、引きこもり対策にもなるので、各地域で交流できる施設の方が必要ではないか。
- ・北茨城市や玉造町にも同じような施設がある。しかし、訪れる人は少ない。なぜ建設を急ぐのか疑問である。高齢者が増えている状況にも合わないのではないか。
- ・九州の指宿市は、知識のある高齢者を活用している。以前、村で人材バンクというものがあった。登録したのに声が掛からなかった。その活用の努力もしないで、また一から始めようとしているのか。
- ・2千人の反対署名について、村長の感想はどうか。潜在的には、反対者はもっと多いと思う。見直す決断はしないのか。
- ・敬老会や金婚式など、高齢者向けのサービスが無くなってきた。箱物ではない、お金の使い道の方が有効ではないか。
- ・コミセンは、どれくらい人件費が掛かっているのか。5人くらいで、何の仕事をしているのか疑問に思う。そのような施設で、高齢者の人材バンクを活用してはどうか。
- ・交流館建設に関する住民投票は考えていないのか。
- ・東日本大震災後に16億円の施設を建設しようとしている。仮に避難するようなことになれば、立派な建物は持つてはいけない。

⇒ 【村長コメント】

- ・交流館の建設に関して、賛否両論あることは認識している。文化財の価値や、それぞれの価値観の問題等もある。これまで文化財を、村内のみどり荘という施設に置いていた。それは、村としての責任を果たしていなかったと思っている。

- ・ 村立照沼小学校の活用についてということであるが、実際に廃校があったならば別で、私の選択肢にはない。
 - ・ 産業情報プラザは、1階に200人を収容できる手ごろなホールがあり、利用頻度もある。2階は、起業する方を支援する創業支援オフィスがあり、8割が利用されている。このように現在も活用されているので、これを更に用途変更して活用しようという気持ちはない。
 - ・ 中央公民館は、耐震の問題があり活用は難しい。この場所は、取り壊して更地にしたい。全体を平らにして、緑も入れながら全体の共有広場にしたい。駐車場やI~MOのまつりなどでも活用したいと考えている。
 - ・ コミセンでは、夜9時まで交代で勤務している。コミセンには、多くの用途を目的とした利用者がいる。文化財は、単に展示すれば良いというものではない。交流館は、常設展や企画展を開催する際、他から借りてくることができる。しかし、コミセンではそのように借りて来ることはできない状況である。
 - ・ 費用の16億円の内、国から目的が決められている交付金が7億円活用できる。私は、交流館が必要であると思っている。維持管理費については、他のサービスに影響が出ないようにやっていきたい。
 - ・ 元々、村には人材バンクというものがあつた。今回、他に新しくということ、不満に思う方もいると思う。
 - ・ 財政面については、維持管理費も含めて村全体の財政について説明していきたい。
 - ・ 反対署名については、伝えきれていない不透明なものがあると思う。費用について、圧縮の検討は必要かと思う。
 - ・ 石神幼稚園は、人が集まっていない。他に有効活用するには、今の規模では難しい。石神地区に幼稚園がなくなると、もっと子どもが減っていくと思う。小学校を統合すると地域が疲弊する。建物の用途転用以前に、地域の幼稚園や保育所、小学校は残していきたい。若い人や子どもが住む方法を考える必要がある。石神地区と照沼地区には起爆剤が必要であると思う。
- 国道245号線の4車線化で照沼地区が活性化することを期待している。
- ・ 住民投票について、私が迷っていれば別である。迷っていないので、計画を待てとは言わない。財政面においても、やり切れると思っている。

【3】 待機児童について

- ・ 最近、子どもが一歳になってからでは保育所に入りにくいという話を聞きました。そのようなことから、自分が子どもを産む時期が遅かったのかと考えてしまうようになりました。
- ・ 保育所に子どもを預けられる枠が少ない。皆待っている状況である。来年も全員は入れないのでしょうか。
- ・ 保育所に入れるならと、村外の実家近くの自治体に引っ越す人もいる。これから子どもを産む人のたちのことも考えて、待機児童を解消する対応を行ってほしいです。
- ・ 保育所に入れる・入れないということで周りのお母さんたちは怒っている。どこで差が出て優先順位をつけているのかが不明確であると思う。

⇒ 【村長コメント】

- ・ 待機児童の解消が出来ていなく申し訳なく思う。この先、舟石川保育所と幼稚園を子ども園にする検討をしているが、2年先が目安となります。民間事業者も多少拡大する動きもあると聞いている。
- ・ 0歳児は、定員まで受け入れ出来ていない。今やれることは手を打ち始めた状況です。遅くとも再来年には何とかしたいとの思いがある。もう少し時間をください。
- ・ 保育所に入る優先順位については、家庭状況は申請を基にし、調査まではしていない。枠を広げないと根本的には変わらない。民間事業者の力も借りながらやっていきたい。小規模保育を民間でも実施するところを探している。場所が必要になるが、新規で土地から探すとなると2~3年はかかる。そのため、建物拡張の方向で考えている。目途がたてば、広報誌などで周知したいと思う。

⇒ **【子育て支援課コメント】**

- ・入所調整は、希望者が受け入れ可能な人数を超えた場合には、保育要件判定基準に基づき、各世帯の状況を考慮した上で保育の優先度に応じて行っております。しかし、兄弟姉妹で同じ保育所に入所する希望や、通勤経路途中にある保育所への入所を希望するなど特定の施設に限定した保護者の希望と、実際に受け入れ可能な施設とのマッチングが上手くいかない状況があります。

「優先度のイメージ（一部）」や「利用調整イメージ」は、「東海村子育て応援ポータルサイト子育てのびのび帳」(<https://www.tokai-kosodate.jp/pagecat301>)に掲載しておりますので、参考にしてください。

また、保育ニーズの把握に努めながら、保育人材の安定的な確保や保育の受け皿整備を検討することで、待機児童の解消を図ってまいります。

【4】 区画整理事業について

- ・敷地内の擁壁について、当初の説明と違っている。以前の引継ぎを受けずに、現状の状態のみで判断しているのではないか。

⇒ **【村長コメント】**

- ・現在の職員が以前の約束を活かすか否かの判断は難しいところがある。不満に思う気持ちは分かるが、現在の状態を見て判断している職員の対応は間違っていない。
- ・対応について担当課に伝える。

【5】 舟石川三区集会所の落ち葉について

- ・舟石川三区集会所の落ち葉について、中学校からの落ち葉が多く掃除しようと思っている。中学生にもボランティアで掃除してもらおうと考えている。どのようにすればよいか。

⇒ **【村長コメント】**

- ・中学生のボランティアでやってもらうことは良い方法だと思う。担当課に伝える。

【6】 特筆すべき事項なし